

## 平成24年行政事業レビューシート

(農林水産省)

事業名	担い手代船取得支援リース事業	担当部局庁	水産庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～平成23年度	担当課室	漁政部水産経営課	水産経営課長 植村 倬明				
会計区分	一般会計	施策名	⑯ 漁業経営の安定					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	水産基本計画(平成19年3月20日閣議決定) 水産関係民間団体事業実施要領 (平成10年4月8日付け10水漁第944号農林水産事務次官依命通知) (平成22年3月26日付け21水港第2597号水産庁長官通知) (平成22年10月1日付け22水港第1522号一部改正) (平成23年3月31日付け22水港第2463号一部改正)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年の漁業を取り巻く厳しい状況の下、漁船の入手コストの軽減や入手方法の多様化を図るため、効率的かつ安定的な漁業経営に向けて経営改善に計画的に取り組もうとする者や新規の沿岸漁業就業者に対する漁船のリース事業等を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	リース事業を推進するため、リース事業実施主体よりリース料助成申請書が提出された場合、事業実施主体が審査委員会を開催し、リース漁船の要件である操縦性能が優れている、安全性、過度な装備がない等の適合性を審査する。(補助金:定額)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	5	3	2	—	—	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	5	3	2	—	—	
	執行額		4	3	2	—	—	
	執行率(%)		80%	100%	100%	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	資源管理・漁業所得補償対策加入漁業者による漁業生産の割合		成果実績	%	—	—	55 (70)	—
	積極的に経営改善に取り組もうとする者や新規の沿岸漁業就業者に対し、漁船リースを決定する。 目標値は、24年度までに10隻の審査を行う。		成果実績	リース数 (累計)	1	2	3	10
			達成度	%	—	—	78.6	—
			達成度	%	10%	20%	30%	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	リース料助成及び適正リース漁船の検討を行う審査会の開催。		活動実績 (当初見込み)	回	2 ( 2 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	— ( )
単位当たりコスト	1,524,538円(1,524,538円/リース漁船1隻)		算出根拠	平成23年度 執行額1,524,538円により、沖合底曳網漁船1隻のリース審査を行い、漁業経営改善計画の認定漁業者1者に対してリース助成を行うことを決定した。 平成22年度 2,500,000円(2,500,000円/リース漁船1隻) 平成21年度 2,436,000円(4,872,000円/リース漁船1隻の審査2回)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	—	—	—					
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・十分な公募期間を確保したが、1社応札となった。 ・本事業は、リース漁船の要件審査を実施しており、審査(操縦面の性能、船殻構造、装備など)に際しては専門的知識が必要であるため、学識経験者でないと対応できない事項が多い。全国的に応募したが、これらの要件を満たした業者からの応募が結果的になく、(社)海洋水産システム協会1社応札となった。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・成果目標については、平成23年度に資源管理・漁業所得補償対策のもとで資源管理に取り組む漁業者による漁業生産の割合を70%としていたところであるが、東日本大震災の影響等により達成度78.6%に留まった。 ・リース事業では漁協の負担、リスクを伴うこともあったと思われ、また、漁船の購入については、水準的に同レベルの低利な融資事業も実施されたため。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 担い手漁業経営改革支援リース事業	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業は、リース漁船の要件審査を実施しているが、審査に際しては専門的知識が必要であるため、学識経験者による審査委員会により実施し、漁船リースの適合性を確保することができる。 ・各年度において、審査技術の蓄積、審査の効率化に努め、リース実施時期の早期化は図られた。		
予算監視・効率化チームの所見			
－	本事業は、23年度で終了の事業であるが、当該年度においては、資金の流れのAについて、2年連続で1者応募である。また、成果指標について、東日本大震災の影響があり成果の検証が不十分であるほか、リース実績が年度目標値を下回っている。以上のことから「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「成果目標達成のために事業内容の見直し」または、「適切な成果目標の設定」を行うべきであった。また、本事業の成果の検証を行う必要がある。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
(23年度限りで終了)	平成23年度限りで終了		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0482	平成23年行政事業レビュー	0344

農林水産省  
2百万円



【公募(補助事業)】(1／1)

A. (社)海洋水産システム協会  
2百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

漁船の適切な更新のための漁船リース料助成  
への適合性の審査を行う。

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(社)海洋水産システム協会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	管理事務費	調査協力費、印刷費、原稿料等	1.2			
	旅費	審査旅費	0.2			
	謝金	検討会委員	0.1			
	計		2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)海洋水産システム協会	漁船リース料助成への適合性の審査	2	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					